

I 学校の概要

学力向上モデル校事業（外国語教育推進モデル校事業）

直島町立直島中学校

◆生徒数及び教員数

○生徒数

第1学年	第2学年	第3学年	特別支援	全校
1学級 15名	1学級 14名	1学級 17名	2学級 2名	5学級 48名

○教員数 13名

◆学校の特徴

近年、直島は「現代アートの島」として世界の注目を集め、国内外から多くの観光客を迎えるようになり、日常的に外国人を見かけるようになっている。そのような中、生徒たちは、異なる文化や考え方をもつ人々と交流していく機会が多くなっている。

直島町では、昭和63年度から町独自に外国語指導助手（ALT）を雇用して英語教育に取り組み、平成23～25年度の3回、文部科学省指定研究開発学校として研究を推進し、平成28年度からは、教育課程特例校として外国語の時数を増やして英語教育に取り組んできた。また、「話す・書く」の2技能を中心に発話と書くこととのつながりを大切にした英語活動の取組や、その発表のためにタブレット端末を積極的に活用しながら、互いに学び合う学習を通して、直島の特色ある教育活動である英語教育を元に、郷土を愛する心を育むこともめざしている。

II 研究主題等

研究主題

「コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の育成」

～ オンラインを活用した海外の中学生との国際交流（リアルタイム）の実践を通して ～

◆研究主題設定の理由

本校では、教育課程特例校で実践を重ねている強みを生かして、学習者用デジタル教科書を活用したペア・グループ活動を実践し、即興性を取り入れた言語活動とともに、自分の思いを言葉や態度で表すことができるようなコミュニケーション能力を身につけることを目的とした授業実践を行っている。そして、それらの学習の成果を試す場として、県内からALTを招き、生徒が英語でのコミュニケーションを図る「Meet the World」を開催し、ALTとの交流を通して国際感覚を養うことができるようにしている。

これらの取組に、オンラインで海外の中学生（同年代）とリアルタイムで交流の場を設定することで、更なる英語教育の推進（発信力の向上、英語学習への意欲向上、異文化理解の促進）をめざすと共に、教員自身が英語によるコミュニケーション活動への理解を深め、指導の個別化や一人ひとりに応じた学習の個性化を図っていきたい。

◆研究内容及び方法

- ① オンラインを活用した海外の中学生とのペア・グループ活動や授業の振り返り等の在り方について
- ② オンラインを活用した海外の中学生との国際交流（リアルタイム）を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や国際感覚を養うことができる交流の在り方について

Ⅲ 成果の評価計画（検証方法）

- ・前期・後期に英検 IBA での調査を行い、そのスコアから成果と課題を確認する。
- ・全国学力学習状況調査や県学習状況調査、標準学力検査等で、該当する項目の実態と成果を確認する。
- ・Meet the World 等の学習活動を通して、既習事項をもとに自身の語彙力を駆使しながら、相手に自分の考えや思いを伝えられるよう取り組めていたかどうか検証する。
- ・授業アンケートを実施することで、生徒の変容や学習の成果を記録し、今後の研究に生かす。

Ⅳ 研究成果の普及方法

令和7年度は、教育課程特例校における外国語教育の公開授業を年間2回予定している。その計画の中で、本研究についての授業を HP で案内したり、高松地区の各中学校等へ案内したりすることで、県下の中学校の取組に普及させることを考えている。また、香川の教育づくり発表会においても、本研究の成果や課題を発表する予定である。